



楽しく子育て!

～子育て支援コーナー通信～

第110号

発行日

2016年10月19日

毎月19日は、「かがわ育児の日」



司書のオススメ本

～知りたい!アート～

<企画展示コーナーから選んでみました>



新しい本が
入りました。

()内の数字は
棚の番号です

現在展示している本に『くうきのかお』アーサー・ビナード/
構成・文(福音館書店)があります。「空気」が描かれた古今
東西の名画にアメリカの詩人アーサー・ビナードさんの詩が添
えられたものです。

この本の著者のアーサー・ビナードさんが、9月に来県され
たと、図書館の利用者の方から教えていただきました。(9月
19日綾川町生涯学習センターで講演をされたそうです。)

企画展示の本を選ぶ際は、来県されることは知りませんでし
た。この小さな偶然が嬉しくもあり、今からでも、じっくり読
んでみようかと思ったりしています。(T)

『小学校までに親がやっ
てはいけない101のこと』
『PHPのびのび子育て』編集部/編
PHP研究所/刊
2016.10
(支援1-5)

『るすめしレシピ』
上田 淳子/[著]
自由国民社/刊
2016.9
(支援2-2)

<おススメbook>

『世界を変えるデザインの力 1 使う』
ナガオカケンメイ/監修
教育画劇/刊



『世界のart図鑑』
レベッカ・ライオンズ,
エミリー・シュライナー/総監修
ポプラ社/刊



『びじゅつかんへいこう』
ピーター・レイノルズ/絵 スーザン・ベルデ/文
なかがわちひろ/訳 国土社/刊

『反抗期乗り切りマニ
アル』
諸富 祥彦/著
主婦の友社/刊
2016.10
(支援3-1)

『子どもが自分から話し
たくなるゆっくりしていね
い親子英会話』
杉本 正宣/著
秀和システム/刊
(支援4-3)

企画展示「子どもとアートを楽しもう!」展

子育て支援コーナーにて、平成28年11月27日(日)まで開催中!

子育て応援団を紹介します。 第14回

「たかまつファミリー・サポート・センター」②

前回に引き続き、「たかまつファミリー・サポート・センター」さんをご紹介します。

あずま さと

アドバイザーの東 利さんにインタビュー



Q1 子どもを安全に預け、預かるための仕組みについてお聞かせください。

A1 まかせて会員として登録するには、15講座24時間の「まかせて会員養成講座」の受講が義務付けられています。子どもの発達・こどもとのかかわり・遊び・安全対策など幅広く学び、まかせて会員としてのスキルを身に着けます。会員になった後も、資質向上を目的とした「スキルアップ講座」を受講していただき、安全に預かる体制を整えています。



アドバイザーのみなさんです。
向かって左から
松本暁美さん、東利さん、香川真由美さん、小西統子さん。

また、預かりの前には必ず、おねがい会員と預ける子ども、まかせて会員、ファミサポのアドバイザーで事前打ち合わせ（マッチング）を行います。援助の内容、子どもの発達、保育方針・緊急時の連絡方法などについて、円滑な活動が行われるよう十分に話し合います。

事前打ち合わせは、事務的な打ち合わせだけでなく、お互いを理解し、子どもがまかせて会員に慣れる良い機会にもなっています。ファミサポでは、万が一の事故に備え保険に加入しています。

Q2 利用に際して、注意事項はありますか。

A2 ファミサポではお手伝いできない援助があります（①子どもの宿泊②病児・病後児の送迎、預かり③家事のお手伝い④集団託児）。

また、お願いしたい日に、まかせて会員さんが引き受けられない時がないとはいえません。ファミサポの他に、別の手段も考えておいただければ、なお安心です。

「おたがいさま」という助け合いの気持ちを持って、まかせて会員さんと良い関係を築いてください。

Q3 子育て中の方へのメッセージをお願いします。

A3 24時間365日休みのない子育て。困った時に「助けて」と言える人が身近にいますか？

ファミリーサポートセンターでは、地域の中で子育ての援助をしてくれる「まかせて会員」を紹介し、子育ての安心と温かな人と人とのつながりを育むお手伝いをしています。

困った時に備えて、まずは会員登録してみませんか？会員登録は無料です。

お気軽にお問い合わせください。（たかまつファミサポ：087-811-2225）



編集後記 瀬戸内国際芸術祭の秋会期が10月8日に始まりました。まだ一度も訪れたことがないので、秋会期こそは行きたいと思っています。涼しい秋風を受けながら、船に乗って島々をめぐり、アートを楽しむ。ついでに、島の美味しいものもいただけたら、最高ですね。（T）